

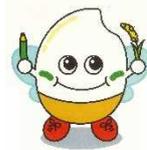
須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

とう 雲 稲 雲

第20号

令和3年1月27日発行

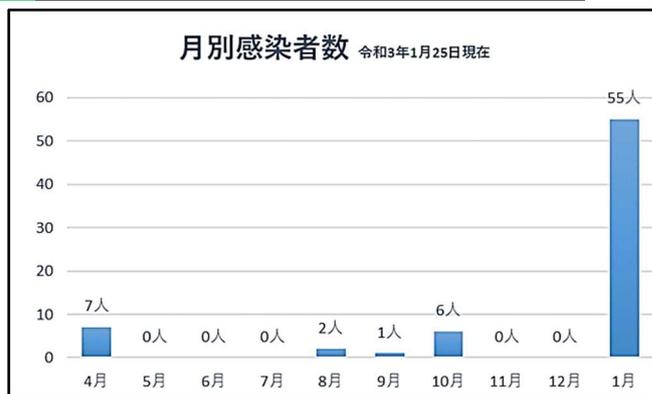
発行者：校長 小貴 崇明



○新型コロナウイルス感染症対策は今まさに正念場です！

現在、県内の感染状況は「ステージⅢ」相当であるとされています。さらに、須賀川市内の感染者がここに来て急激に増加している状況にあることは、右のグラフからも明らかです。学校では、室内において複数の児童生徒が近距離で行う合唱や管楽器演奏、密集する運動などの**感染リスクの高い活動を停止**し、残念ではありますが**授業参観も中止**いたしました。

(右のグラフは須賀川市月別感染者数 出典：市HP)



また、須賀川市教育委員会の指示により、**2月7日（日）まで部活動及び特設活動について全ての活動を停止**しています。※状況によっては、期間が延長される場合もあります。

保護者の皆様におかれましては、引き続き、お子さんの健康状態の把握に努めていただくとともに、同居家族の皆様も毎日健康状態を確認し、同居家族に風邪症状が見られる場合にも、登校を控えるようお願いいたします。その際には、「欠席」とせず「出席停止」として扱うことができますので、学校にご相談ください。

日本全体にとっても、須賀川市にとっても**今がまさに正念場**であると考えます。ワクチン接種が国民全体に行き渡るなど医療環境が危機的状況を脱するまでは、まだまだコロナとの戦いは続きます。これ以上感染を拡大させないためには、皆さん一人一人の行動が大切です。自分自身の命を守るため、大切な人の命を守るため、そして、医療崩壊を防ぎ、社会を守るため、新たな感染者を出さない行動をこれからもよろしく願います。

○稲田幼稚園年長組の皆さんが稲田学園2年生と交流

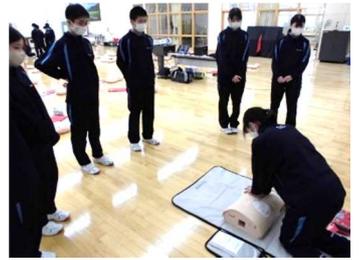
1月22日（金）、稲田幼稚園年長組の園児が来校して2年生と交流しました。例年、2年生が稲田幼稚園を訪問して交流活動を行っていましたが、今年度は密を避け、広い稲雲ホールで感染症対策をしっかりとりながら交流活動を行いました。



2年生と園児は、牛乳パックと輪ゴムで「パッチンガエル」を協力して作り、一緒に跳ばして楽しんでいました。2年生は、園児に対して笑顔で優しく接していました。交流活動をとおして、2年生の成長した姿をたくさん見る事ができました。2年生の皆さん、とっても立派でしたよ！！

○コロナに注意しながら命を守る指導は中止にしません

1月19日(火)、8年生対象のAED講習会を実施いたしました。講師は、NPO法人福島ACLS協会の皆様で、実際に救急救命の現場でたくさんの命を救ってきた方々です。講習用マネキンが一人一台確保され、更に本物に近いAED操作も体験できるという機材の充実した講習で、8年生は積極的に参加し人命救助の模擬体験をしていました。万が一の場合に、この経験が生かされればと願います。



また、1月22日(金)、5年生が「そなえるふくしま防災出前講座」を受講しました。福島県危機管理部の職員の方がお見えになり、映像を取り入れた説明、防災クイズなどをとおして防災への心構えなどをわかりやすく解説いただきました。

特にスマホを使ったVR体験では、地震、土砂災害の360度映像を5年生全員が体験し、実際に自分たちが災害の場に立ち会っているかのようなリアルな映像に子どもたちは怖さを実感し、とても驚いていました。

どちらの講習も、「命を守る」という観点から感染症対策を徹底した上で実施しました。

○本物の議場で市政を問う～中学生による模擬議会～



1月25日(月)、市役所4階の議会本会議場で中学生による模擬議会が開催され、市内の各中学校から選出された24名の生徒が議員となり、須賀川市の施策やまちづくりについて、本物の市議会のように質問を行いました。

稲田学園からは生徒会長の●●●●さん(8年)と生徒会庶務の○○○○君(8年)が参加しました。質問に立った●●さんは、「緊張はしましたが貴重な体験ができました。」と感想を述べていました。

★ことばのちから(19)「あなたの住む部屋が、あなた自身である」

稲田学園に赴任してもうすぐ1年。新型コロナウイルス感染症対策に奔走した1年ではありますが、ふと校長室を見渡すと机の上にはたくさんのバインダー、そして棚の上にも中にもたくさんのファイルが無造作に突っ込んであります。そんな雑然とした環境の中に、飾ろうと持ってきた置物や絵がとても寂しそうに見えます。こんなことでは子どもたちに「整理整頓は大切です」などと指導できません。そんな時に出会ったのがこの言葉です。

あなたの部屋はどんな状態ですか？まさか『ゴミ屋敷』状態になっていませんか？部屋が整理されていないのであれば、あなた自身の心をまずリセットすると部屋もきれいになるかもしれません。チャンスは新年度です。4月からの令和3年度、私もまず心の中を整理して、義務教育学校の校長室をスッキリさせていこうと考えています。